

かげろう絵図 (1959)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 ミステリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 118分

初公開日 1959/09/27

【解説】

松本清張の時代小説を初めて映画化した作品で「鳴門秘帖」の衣笠貞之助が脚色（犬塚稔と共同）と監督を担当した。清張が「下山事件に似た物語」というとおり、大奥を舞台とした不可解な失踪事件をめぐるミステリーとなっている。

十二代の徳川家慶は将軍とは名ばかりで、大御所である家斉が実権を握っていた。家斉の愛妾お美代の方の養父である中野石翁は、孫にあたる前田家の若君を世継にしようと画策していた。幕政の改革に大志を抱く旗本の島田又左衛門は、登美を大奥へ送り込みお美代の方に近づかせる。身ごもった大奥の中年寄菊川を石翁が死なせたことを知り、又左衛門の甥である新之助は石翁本人の前で悪事を暴くのだが…。

【クレジット】

監督 衣笠貞之助

製作 三浦信夫

企画 財前定生

原作 松本清張

脚本 犬塚稔

衣笠貞之助

撮影 渡辺公夫

美術 西岡善信

音楽 斎藤一郎

出演 市川雷蔵

山本富士子

滝沢修

柳永二郎

木暮実千代

河津清三郎

志村喬

黒川弥太郎

阿井美千子

三田登喜子

矢島ひろ子

南左斗子

千葉敏郎

伊沢一郎

須賀不二夫

山路義人
永田靖
松本克平
大和七海路
加茂良子
香川良介
坂東蓑助